



ともしび

— TO MO SI BI — 第254号

2017(平成29)年6月号

降誕会

日中は、真夏日を記録することもあり、日増しに暑くなつてまいりました。行楽シーズンですので、皆さまも各所にお出かけになることも多いと思います。

さて今月(6月4日)は、当会館におきまして宗祖親鸞聖人の降誕会法要をお勤めいたします。降誕会(ごうたんえ)は、親鸞聖人のお誕生をお祝いする行事で、浄土真宗の寺院ではとても大切に行っている行事の一つです。親鸞聖人は1173年5月21日に日野の里(現在の京都府)でお生まれになりました。その時代は、藤原家を中心とした貴族の政治が終わり、平氏が政権をとり、武家の政治へと変わつていく時代でした。そして幾多の戦乱や天災の続発による混乱の世の中でした。また、飢饉や疫病によつて多くの人が命を落とし、賀茂川に捨てられた死骸がその流れをせき止めて、京都の町のなかに水があふれ出したとも伝えられています。

若き日の親鸞聖人は、9才で得度され、比叡山で修行されました。しかし、その修行の間、暗闇の中で生きていくような不安を抱えられていました。そして縁があり、法然聖人が説かれるお念仏の教えに会い、阿弥陀さまの光明の中に生かされる喜びを得られたのです。

生涯の師ともいえる法然聖人との出遇いは、これまでの人生が180度転換することになったのです。私たちも親鸞聖人の教えに遇えなかつたらば、どんな生き方をしていたかわかりません。その後、親鸞聖人はお念仏の教えを多くの方々に広め伝えていかれました。

親鸞聖人が多くの方々を魅了した理由の一つに、

「親鸞しんらんは弟子一人ももたずそらう候」

という生き方があるのです。親鸞聖人がご在世の頃、「念仏の同行を一人でも多く自分の門下にし、我が門下を一人も手放したくない。」と、名誉や経済的な利益を背景にした門徒争奪に躍起になる門弟がいたそうです。

そこで、親鸞聖人が戒めるために仰せになったのが「弟子一人ももたず」というお言葉なのです。このお言葉は、「私(親鸞)のはからいによつてお念仏申す人がいれば、その人を弟子と言えるでしょうが、私たちは阿弥陀さまの御はからいにより、お念仏申す身になつたのです。お念仏申す方々を自分の弟子だと争いを起こすことは、極めて軽はずみな行為ですよ。」という意味があります。

私たち人間は職場などの環境で、ある程度の地位になると、自分より劣つてみるとみられる者を配下にし、より一層自分の地位を確立させていく傾向があると思います。お念仏申す生活のなかでは、上下関係など一切なく、阿弥陀さまに救われていく喜びをもにいただくことが大切です。

親鸞聖人は、阿弥陀さまに手を合わせている後姿で、阿弥陀さまに救われる喜びを伝えた方であつたのでしよう。降誕会において、親鸞聖人のお誕生をお祝いしつつ、今一度、お念仏のおいわれをご一緒に聞かせていただきます。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. 引っ越しした時は？

A. お寺へもご連絡を！

私のお寺では毎月「寺報」を作り、門徒宅などへ郵送しているのですが、時たま「転居先不明」で返ってくる場合があります。「引っ越しされたのか？」「それとも何かあったのか」とあれこれ考えたり、「どうして連絡してくれなかったのかなあ」と寂しくなります。

近ごろは、一生同じ土地で過ごす人はまれになり、特に都市部では引っ越しがさかんに行われます。ガスや電気水道、電話などは転居届を出されるのですが、お寺への連絡を忘れる人がおられます。お寺としては、それは教えを伝える上からも、お寺の案内や諸連絡を行う上からも困るので、必ずお寺に来て、転居後のお寺との関係をはっきりしていただきたいのです。

もし、お寺にお墓があったり、お寺名義の納骨所に先祖の遺骨を納めていたりすると、その管理についても話しておかねばなりませんし、転居先の

住所もきちんと知らせておく必要があるのです。そうした管理上の問題がなく、お寺から離れるというのであれば、その旨を告げ、住職の了解を得て、転居先に近いお寺を紹介してもらってください。

引っ越して来た方で、しばしば「お西さんのお寺をあちこち探しました」が、なかなか見つからなくて…とおっしゃる方がいます。そういうことにならないためにも、引っ越し前に紹介してもらいましょう。

また、中には「お寺はいなかにあるから、別に今住んでいる所でお寺をさがさなくてもよい」と思っている方があるかもしれません。お寺を「先祖やお墓を守る所」と考えておられるのでしょうか。しかし、お寺というのは、本来「今生きている人が教えを聞く所」であり、今の生活を離れてあるのではないのです。その点から、教えを聞く人とする人には、全国どこのお寺でも門戸は解放されています。「いなかにお寺がある」人も、今住んでいる近くのお寺とご縁を結んでください。

新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

全国布教大会 東京大会

期日 平成29年6月20日(火)

時間 9時30分～16時50分

会場 築地本願寺 本堂

会費 1,000円

〈大会テーマ〉

われも ひかりの うちにある

全国各地より駆けつけた8名の僧侶がお話しいたします。楽しく心に響くお話を聞くことができ、幸せな気分をお持ち帰りください。

平成29年の年回表

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)

平成29年 年回表	
1周忌	平成28年
3回忌	平成27年
7回忌	平成23年
13回忌	平成17年
17回忌	平成13年
23回忌	平成7年
25回忌	平成5年
27回忌	平成3年
33回忌	昭和60年
50回忌	昭和43年

5月行事の様子

★常例法座 5月14日(日) 13時～15時

正信偈のお勤めの後、ご講師・友岡晃二師よりご法話をいただき、21名の方が参拝されました。

勤行「正信偈」



5月の誕生日の皆さま



友岡晃二師



鍼灸師の資格をお持ちのご講師ならではの？眠気に効く百会（ひゃくえ）のツボを教えてくださいました。

★おみがき・境内清掃 5月21日(日) 10時～12時

5月としては珍しく30度を超える真夏日の中、おみがきと境内清掃を行い、21名の方にお手伝いいただきました。

おみがき（仏具を薬液で洗浄）



おみがき（仕上げ拭き）



境内清掃



おみがき後の本堂



おまけ



ボクもお手伝いしました！

東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

6月の行事予定

降誕会・奉讃会総会

6月4日(日) 午後1時～

ご講師 西村 信也師(神奈川県 西法寺)
宗祖親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。
懇親会も行いますので、是非ご参加ください。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

6月16日(金) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

第1回キッズサンガ子ども会

6月17日(土) 午前10時～

小中学生対象です。小さなお子さまは、
保護者同伴でご参加ください。

日帰りバス研修旅行

6月25日(日)

埼玉県比企郡の寺院参拝・観光をいたします。
お申込み期限は6月6日です。お早めに!

7月の行事予定

境内清掃

7月1日(土) 午前9時～

境内の草取りを中心に行います。
ご協力よろしくお願ひいたします。

常例法座

7月9日(日) 午後1時～

ご講師 七里 順量師(埼玉県超光寺)
どうぞ、お気軽にお参りください。

キッズサンガー泊サマースクール

7月29日(土)～30日(日)

お寺でたくさんの友達と泊まり、ひと夏の
思い出作りにサマースクールを開催します。

東久留米会館会報 「ともしび」
第254号
発行日 2017年6月1日
発行者 安邊 泰教
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話番号 042-474-6787

編集後記

長女が通う小学校では、5月末に
早々と運動会があります。本人は楽
しみにしている反面、苦手なかけっ
こをどう克服するか、悩んでいるよ
うです。(安)

今月のお仏飯米のご進納

ありがとうございます。

北川 康雄様 山下 肇様
加藤 吉長様
北川 康雄様 神谷正弘様 高田慶彦様
神谷玲子様 西ユリ子様 田口康子様
浅野由美様 高橋 操様 高田テール様
渡邊タキ子様 奥川眞三様 加藤吉長様
才野木康雄様 熊谷 武様 白井美代子様
石田和美様 飯島 悠様